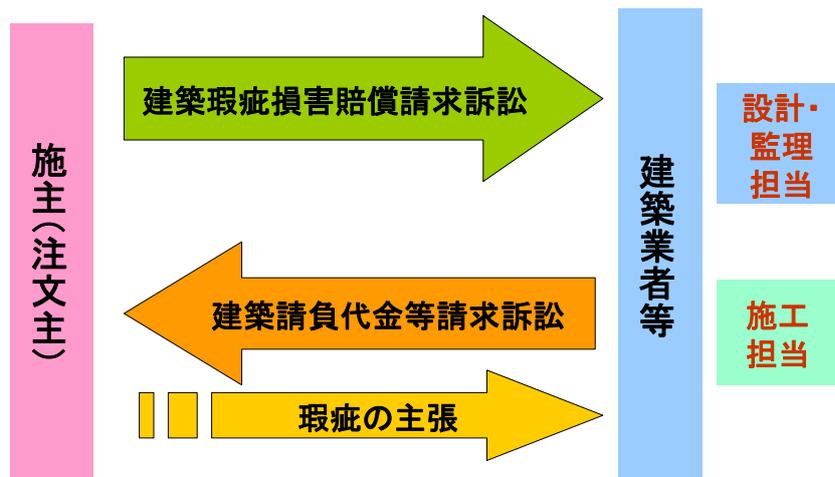


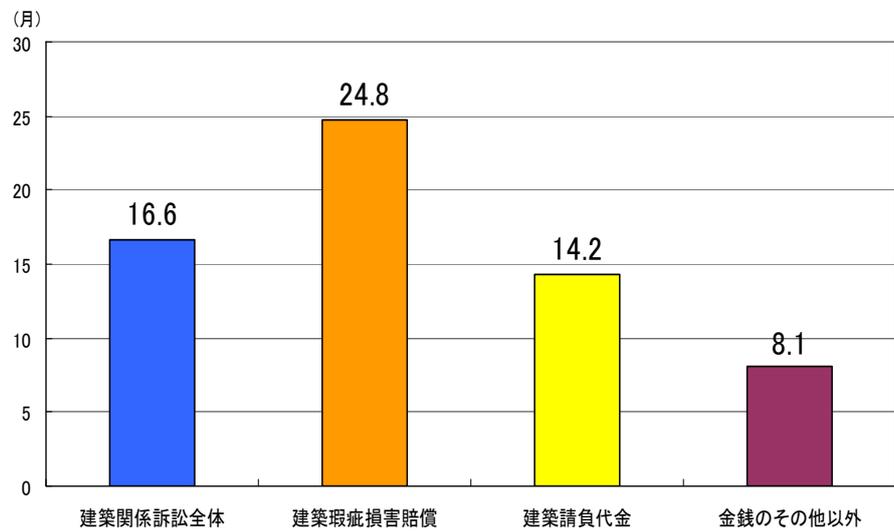
建築関係訴訟の 審理長期化要因について

最高裁判所 民事局

建築関係訴訟とは



平均審理期間



建築関係訴訟の流れ

当事者間で合意された契約内容の確定

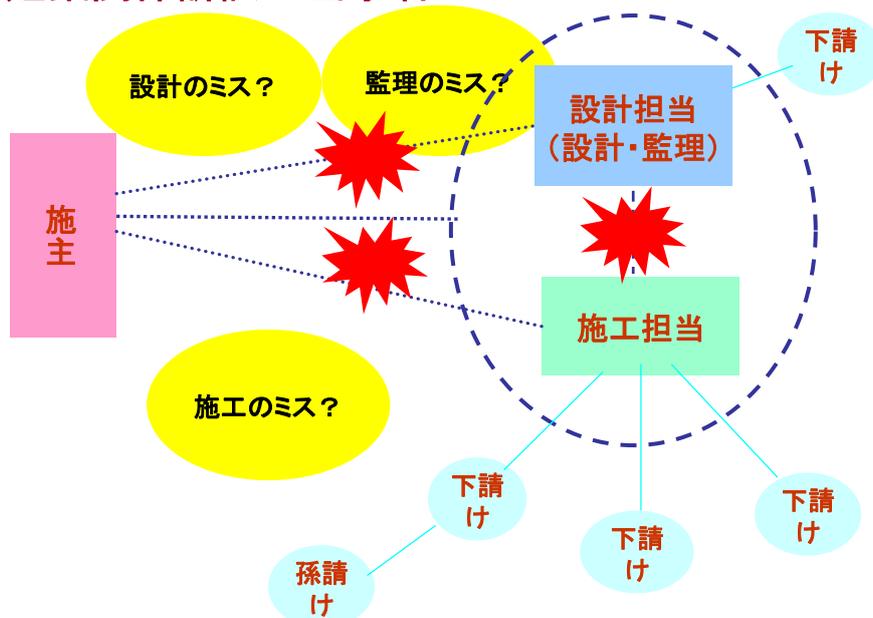
瑕疵の確定
実際に行われた工事の内容の確定

瑕疵の修理に要する金額・損害額の確定
支払うべき工事代金額の確定

建築関係訴訟の長期化要因

1. 専門的知見の不足
2. 争点多数
3. 客観的証拠の不足
4. 鑑定 of 長期化
5. 感情的対立

建築関係訴訟の当事者



1. 専門的知見の必要性

～専門的知見の不足による争点整理の長期化

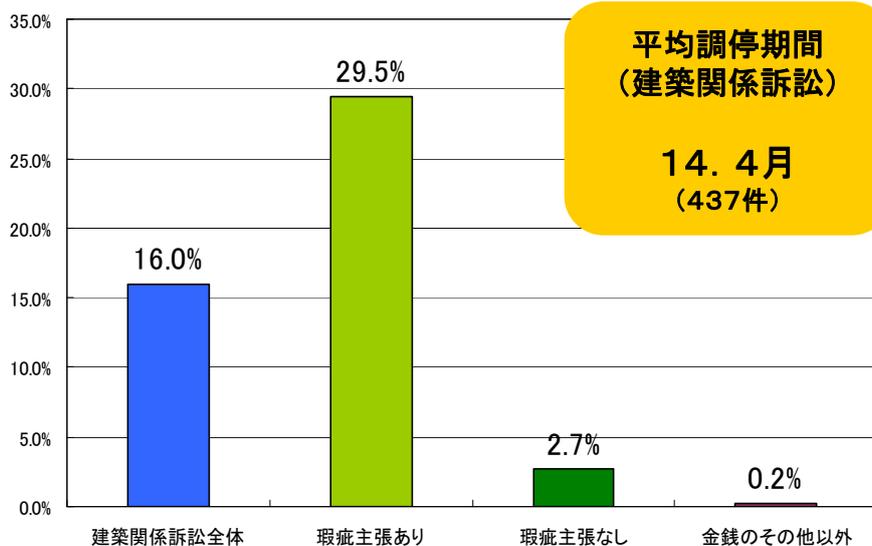
建築技術, 建築法規, 業界の慣習等の
多岐にわたる専門的知見が必要

裁判官も代理人
も専門的知見が
ないと……

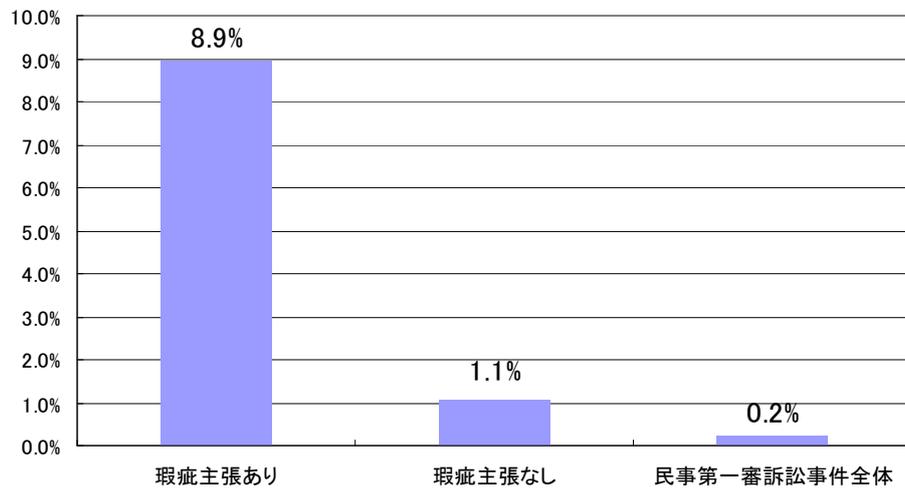
争点の把握, 整理が困難

争点整理の長期化

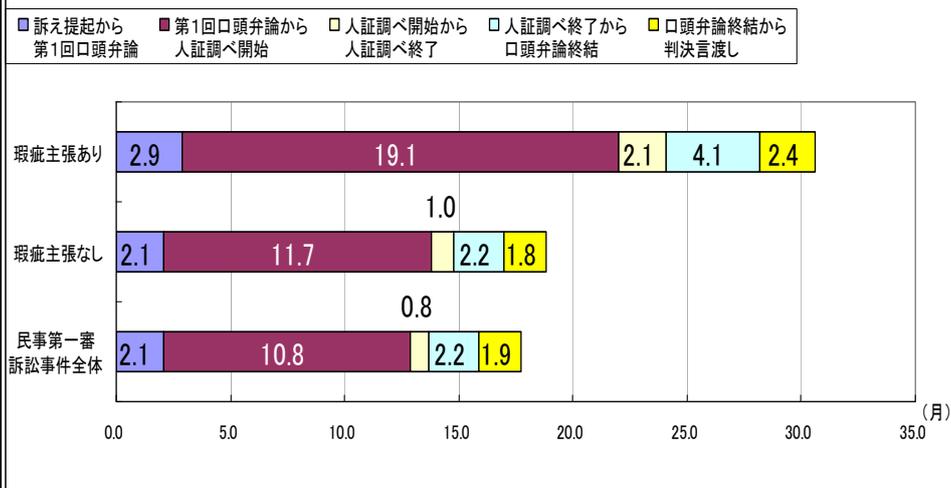
調停に付された事件の割合



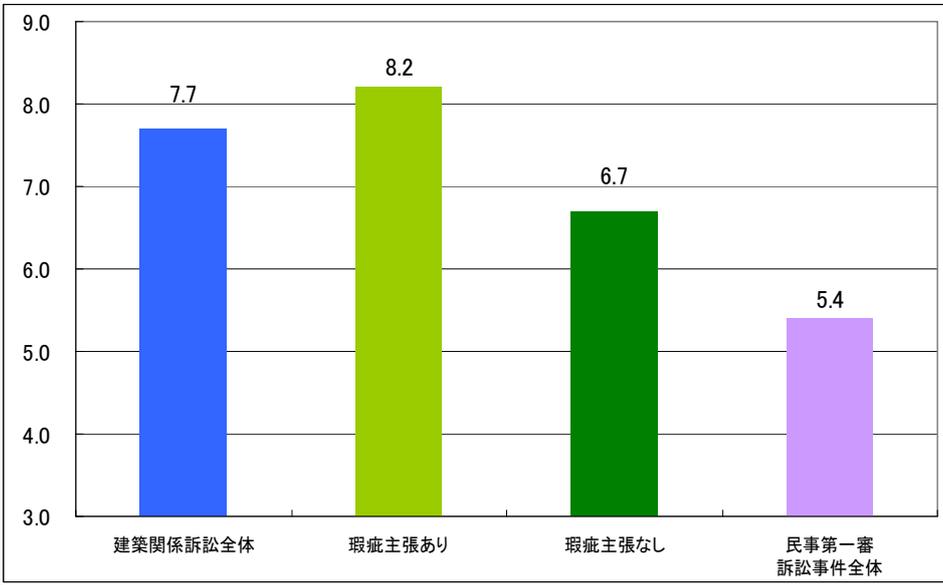
専門委員選任割合



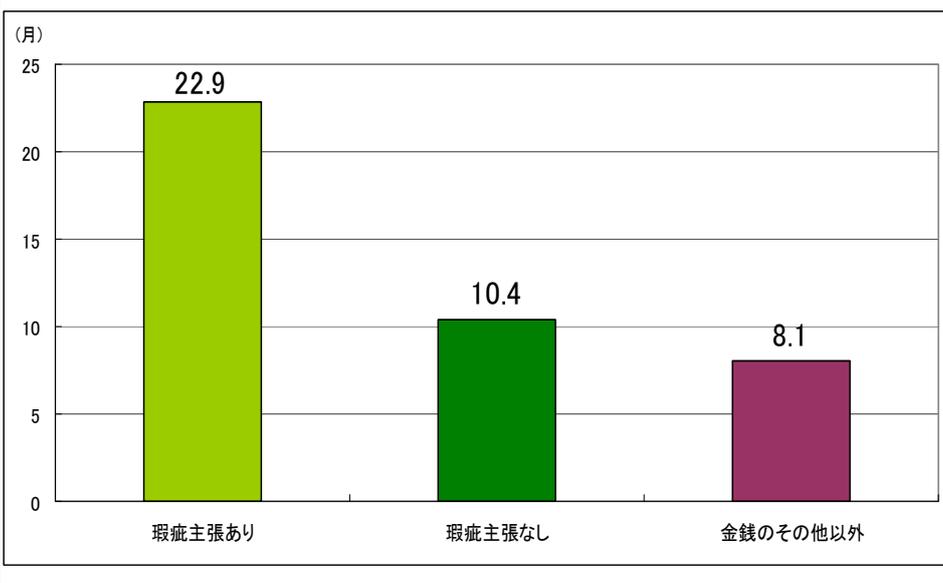
瑕疵主張の有無と争点整理期間



瑕疵主張の有無と平均争点整理期日回数



瑕疵主張の有無と平均審理期間



2. 争点多数

～瑕疵, 工事内容等の争点多数による争点整理の長期化

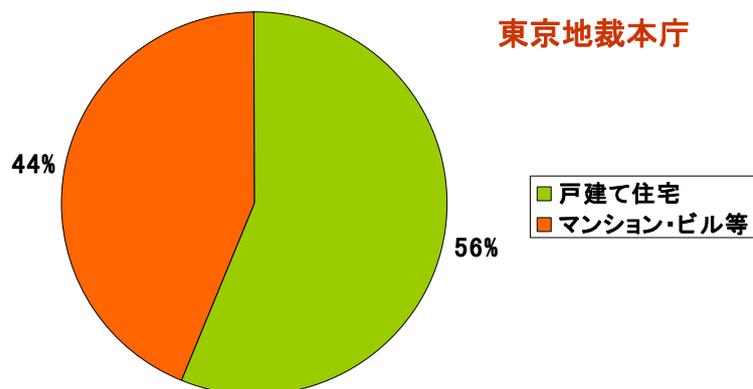
当事者の思い入れの強さ

多数の不具合を網羅的に主張

マンション・ビルなどの大型物件

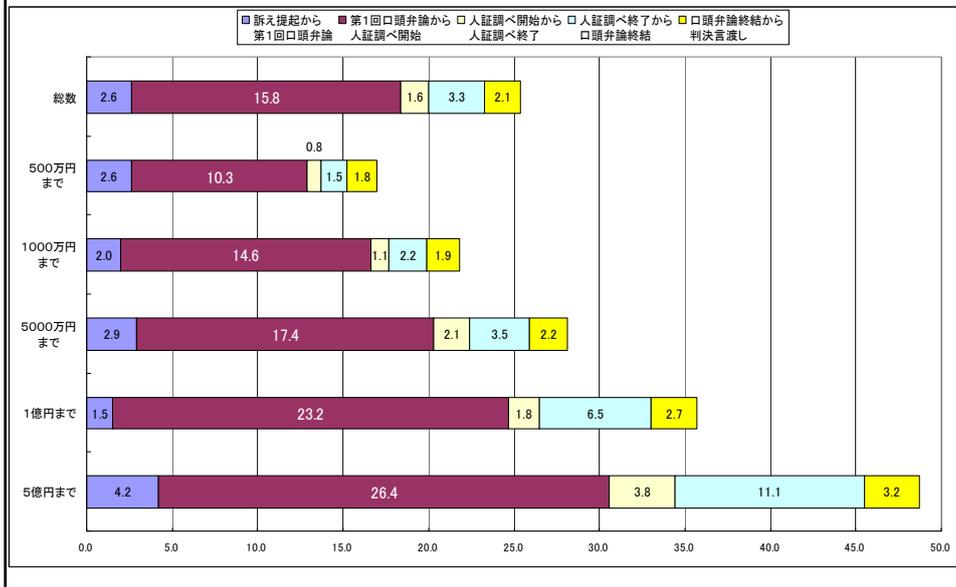
主張をかみ合わせ, 立証方法を検討する作業に時間を要する

大型物件について

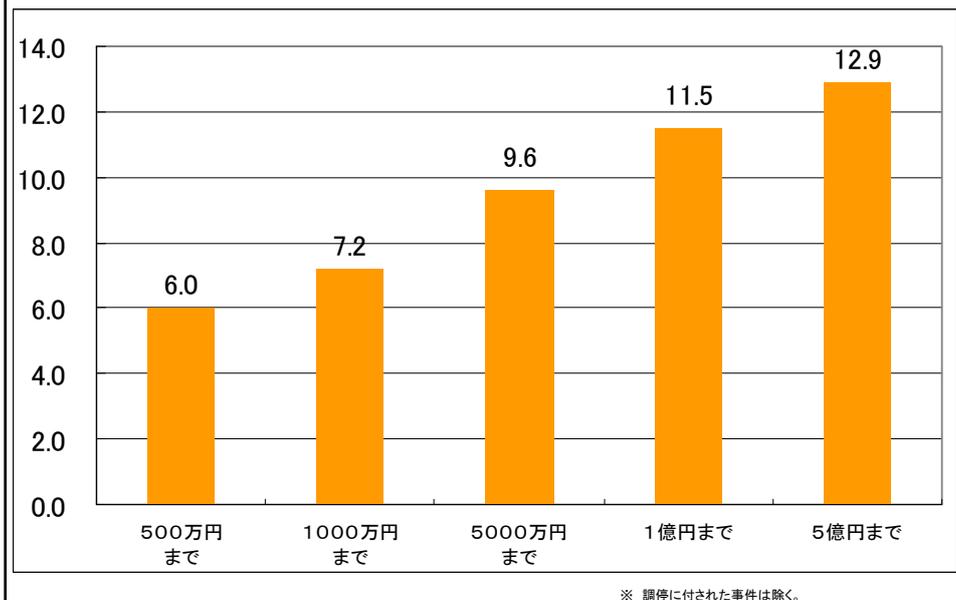


※ 文献⑨より

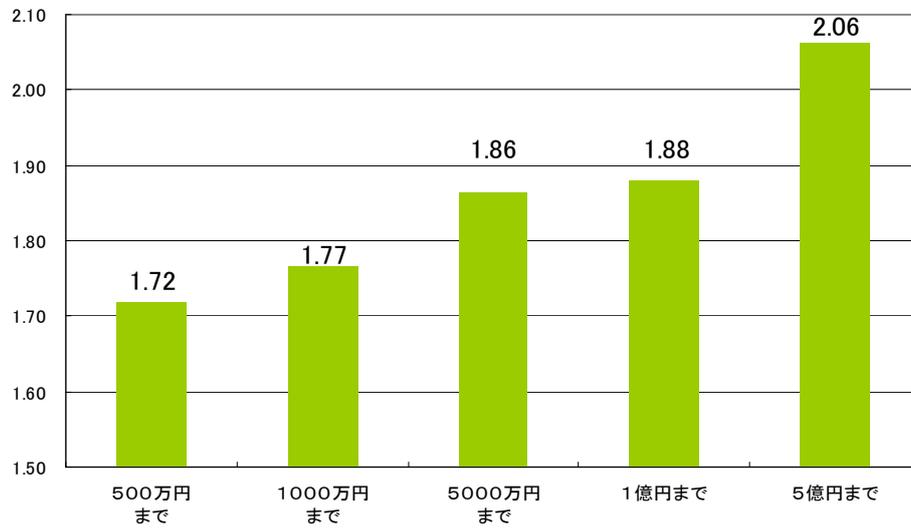
訴額別の争点整理期間



訴額別の争点整理期日回数

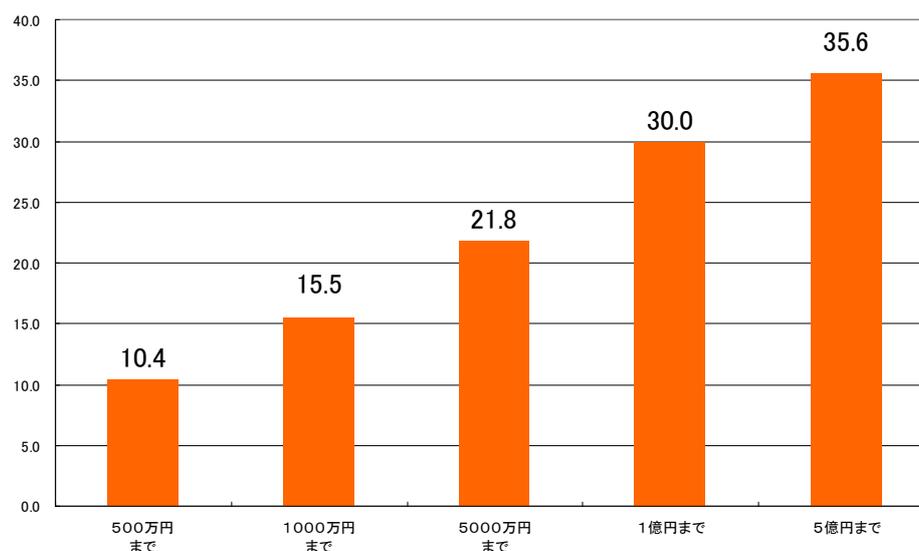


訴額別の平均期日間隔



※ 調停に付された事件は除く。

訴額別の平均審理期間



3. 客観的証拠の不足

～契約書等の不存在, 不備による争点整理, 証拠調べの長期化

契約書・図面等の不存在

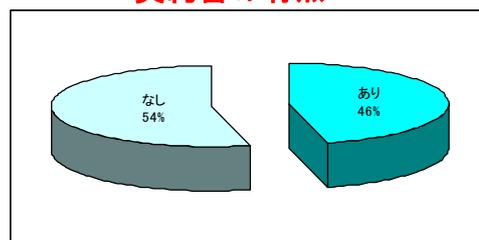
契約書・図面等の不備

関係者の証言や間接的な事情による立証

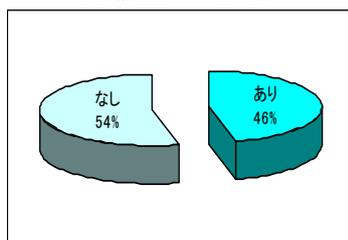
紛争の複雑化・長期化

契約書等の作成状況(東京地方裁判所)

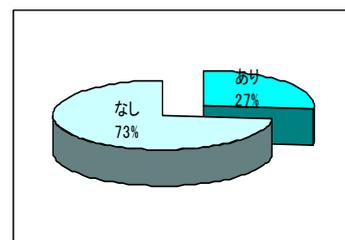
契約書の有無



見積書の有無

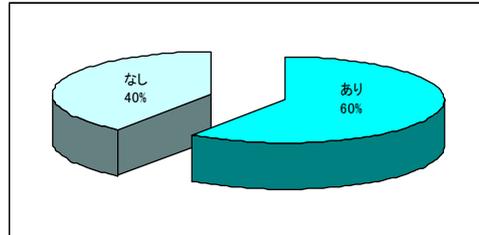


設計図書の有無

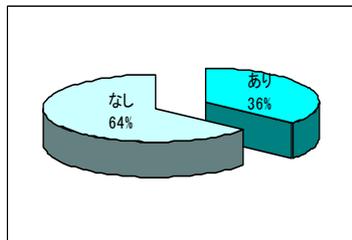


契約書等の作成状況(大阪地方裁判所)

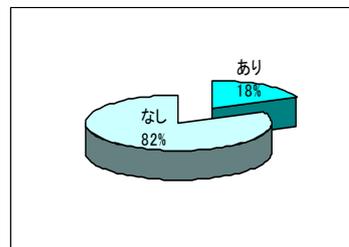
契約書の有無



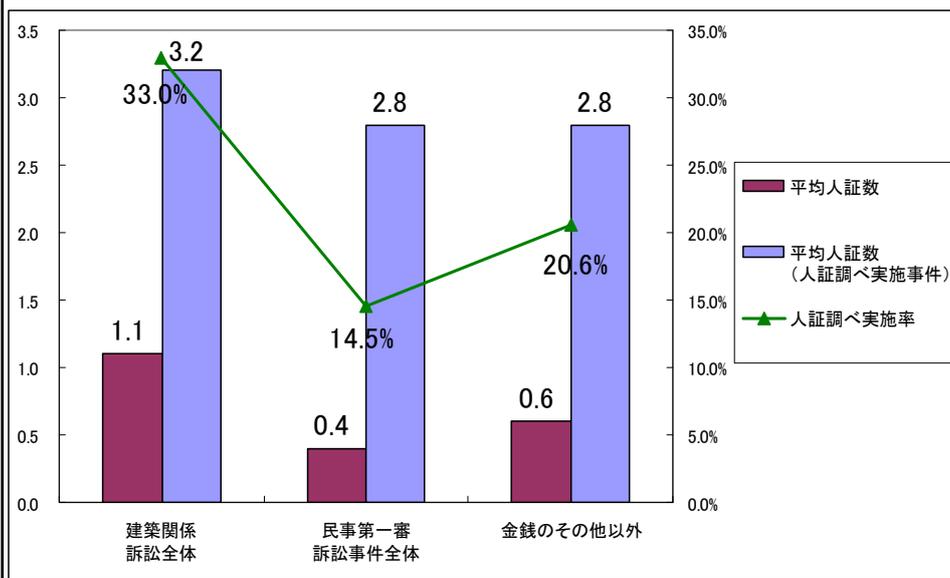
見積書の有無



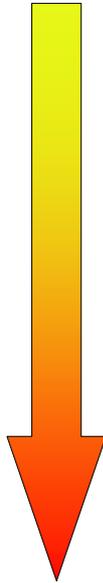
設計図書の有無



人証調べ実施率, 平均人証数

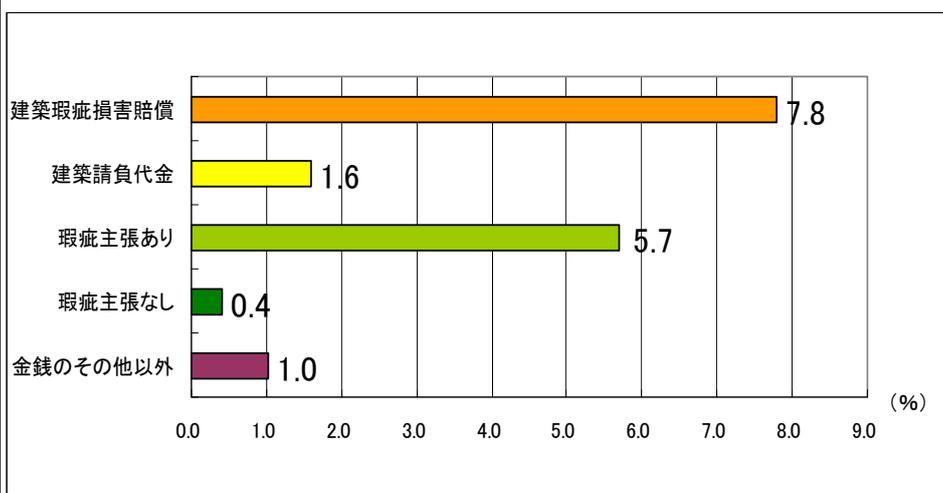


4. 鑑定の長期化

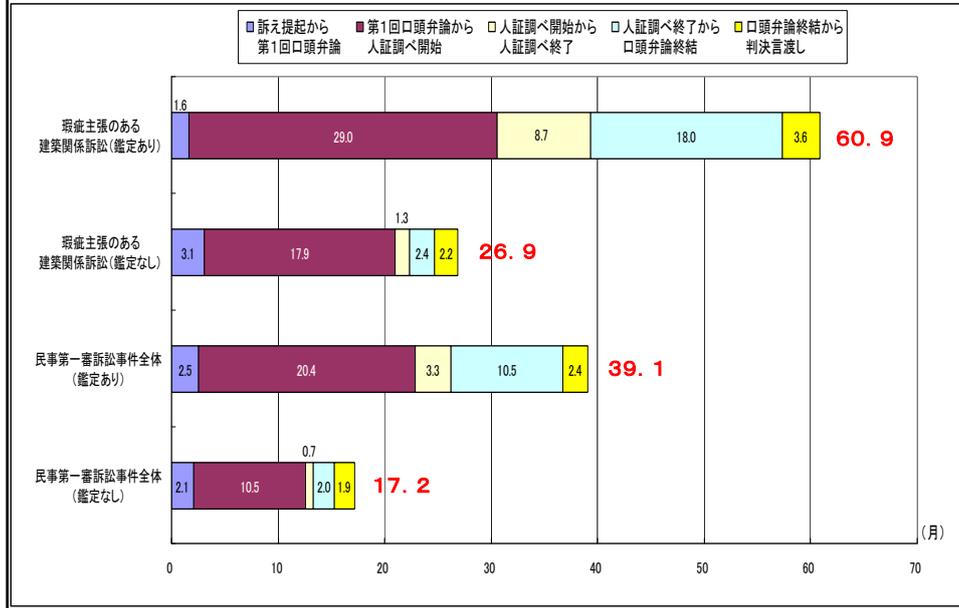


- 鑑定の可否の検討
- 鑑定事項の検討
- 鑑定人の選定
- 鑑定の実施
- 鑑定書の作成
- 鑑定書の提出
- 鑑定書提出後の審理

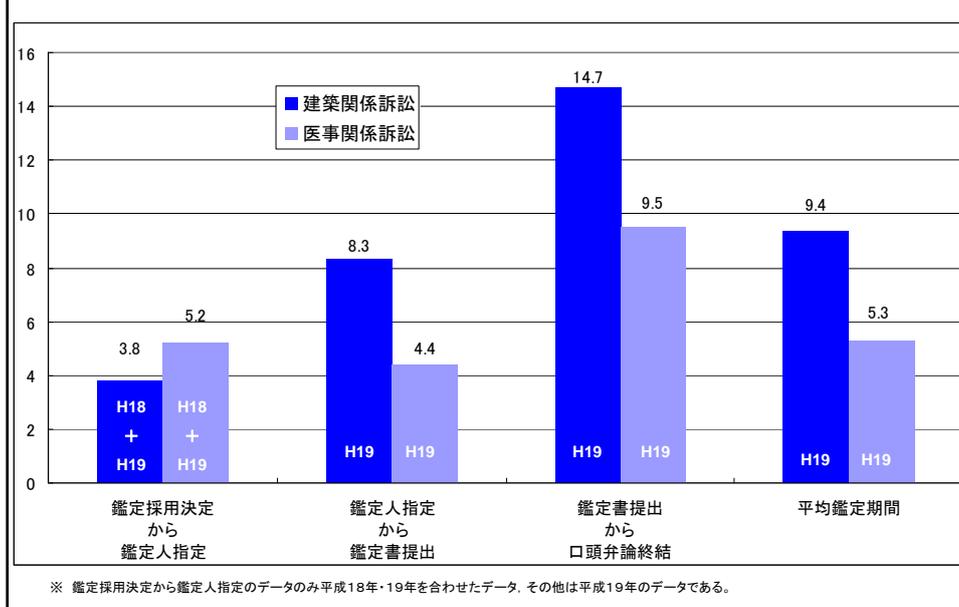
建築関係訴訟における鑑定実施率



鑑定の有無と平均審理期間



鑑定に要する期間



5. 感情的対立



建築関係訴訟の長期化要因(まとめ)

1 専門的知見の不足による
争点整理の長期化

2 鑑定の長期化

3 争点多数

4 客観的証拠の不足

5 感情的対立

専門的知見の
必要性の問題

“量”の多さの問題